

令和7年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

宮代町教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1

宮代町立東小学校の取組

○学年・教科名 第3学年 国語科

○单元名 まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう

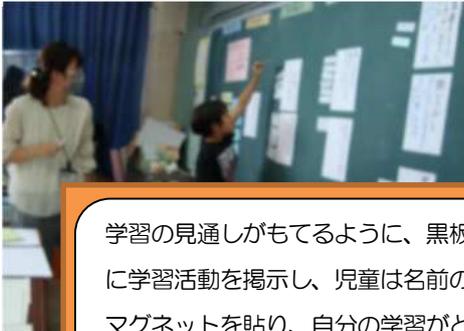
【具体の手立て】

〔★学習の進め方を自ら調整するために〕

- ①個別に本時のめあてを明記することで、自分事として学びに向かう意識を高める。
- ②学び方をゆだね、試行錯誤することに価値をつける。

〔☆自己の学びをもとに、多様な他者と共に学び合うために〕

- ①本時のめあてと振り返りを共有することで、自己と他者の学びを比べ、新たな気づきもてるようにする。
- ②学んだことを生かし、友達と伝え合う場を設定する。



学習の見通しがもてるように、黒板に学習活動を掲示し、児童は名前のマグネットを貼り、自分の学習がどこまで進んでいるかを可視化した。



画用紙、写真、全文シート、付箋等を用意し、児童に選択させ、主体的に教材と向き合う工夫を行った。



自分らしく学びに向かうために、表現の仕方は個人に委ねる。

事例2

宮代町立百間小学校の取組

○学年・教科名 第1学年・算数

○单元名 ひきざん

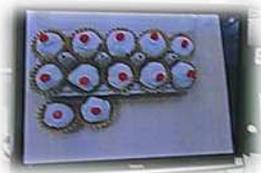
○身に付けさせたい力

- ・ブロック操作や図・式を用いて、減加法と減々法の手順を理解し、確実に計算できる力
- ・「なぜそうしたのか」「次にどうするのか」を言葉で説明できる力
- ・友達と協力して課題を解決する学び合いの姿勢

導入

興味を引くだけでなく意味のある問題提示

おかしが12こあります。3こたべると、のこりはなんこですか。



実物を提示することで、児童の興味を引くと共に、10のまとまりとばらが2つという本時の学習である減々法に繋がる資料の提示。

展開

自分の考えを順序立てて説明をする



ブロックやヒントカードを手掛かりに自分の考えをまとめる。

発表の流れ

1. 発表を始めます。
2. 私は、 を使って、考えました。
3. 図や式を指さしながら説明
4. 何か質問はありますか？
5. 私と同じ考えの人はいますか？
6. これで私の発表を終わりにします。

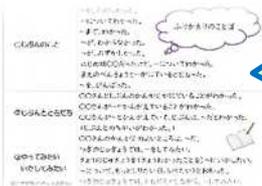
よりよい聞き方

- ・話す人の方を見ながら聞く。
- ・あいつちを打ちながら聞く。
- ・自分の考えとにているところやちがうところを考えながら聞く。
- ・しつもんを考えながら聞く。

発表の流れを参考に、さくらんぼ図やブロックを用いて考えをまとめ、自分の言葉で順序だてて説明をする。

まとめ

観点を明確にした振り返り



振り返りの言葉の例を示して自分の思いを適切に表現できるようにする。



事例3

宮代町立百間中学校の取組

○学年・教科名 3年 英語

○身に付けさせたい力 ・ルーティン化した取組により、「読むこと」「話すこと」の力の向上

導入

- ・单元ごとに新出の単語やフレーズについて小テストやICTを活用したクイズ形式の問題を繰り返し行い、知識の定着を図った。

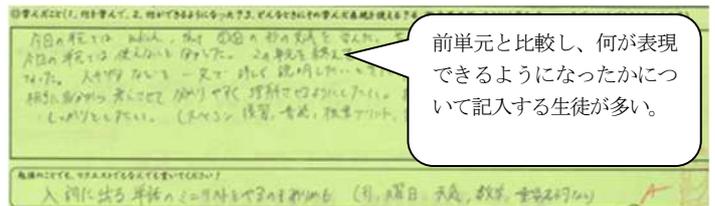


展開

- ・「読むこと」「話すこと」の技能を向上させるため、次の流れをルーティン化した。
 - ① デジタル教科書で発音を確認しながら各個人で音読 …〔個別最適な学び〕
 - ② 学力を考慮した意図的な英語用ペアでの相互練習 …〔協働的な学び〕
 - ③ 単元の最後に各生徒がALTによる音読チェック …〔個別最適な学び〕
 - ④ 各生徒が音読した内容の要旨をALTに英語でリテリング …〔個別最適な学び〕
- ・表現力を向上させるため、月1回、日常生活や学校行事に関連付けたレポートの作成 …〔協働的な学び〕
- ・場面や対象者を明確に設定した上でのプレゼンテーションを個人・グループで作成 …〔個別最適な学び・協働的な学び〕

まとめ

- ・振り返りシートにおいて、授業ごとだけでなく、单元全体を振り返る記入欄を設け、文型について理解したことをまとめたり、前单元との比較をすることで自分の理解度を確認したりする指導を行った。また、次单元への目標を記入し、見通しをもって学習する姿勢の育成を図った。
- ・授業を受け、さらに家庭学習の充実させたい生徒には、学習用プリントを提供している（約7割の生徒が活用）。



前单元と比較し、何が表現できるようになったかについて記入する生徒が多い。